

充実した学習機会・活動サポート

青少年赤十字では、体験学習等を実施するための充実した人材、資材を提供することができます。
また、指導者向けの研修を開催し、普段の授業で活用できるプログラムや、青少年赤十字で培われたノウハウを提供することができます。



○体験学習への講師及び補助者の派遣
○体験学習用資材（高齢者疑似体験セット等）の貸し出し
○指導者向け研修会の開催

活動に活かせる資料等の提供

赤十字の世界的なネットワークと青少年赤十字の特徴である態度目標「気づき、考え、実行する」を活かした教材を提供することができます。



「三大実践目標」

「生きる力」の充実化

■バランスよく育てる教育方針

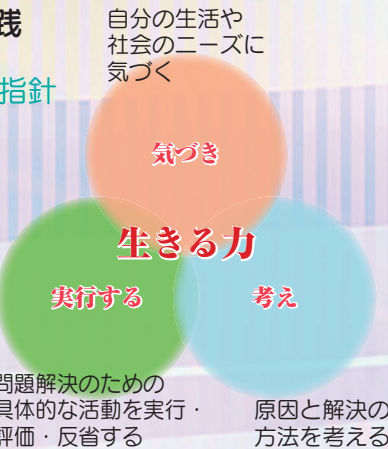
『健康・安全』
生命と健康を大切にする
『奉仕』
社会のため、人のために
責任を自覚し、実行する
『国際理解・親善』
広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う
精神を養う

「態度目標」

「生きる力」の実践

■活動における指針

「気づき・考え・実行する」



JRCを経験した子どもたちの声

いのちと健康を大事にします。

友達の気持ちを考えて行動します！

学校や家で自分ができることを実行しています。

国際理解教育への活用

192 国に同じ赤十字の仲間がいます。世界を視野に入れた活動や海外への派遣、海外からの受け入れを通じて、交流の機会を提供し、児童・生徒の視野を広げます。



○国際交流派遣、受け入れの実施
○一円玉募金を通じた海外への支援
○海外救援金への協力
○トビックアルバムの交換

千葉県の青少年赤十字

★青少年赤十字についてはこちら
<https://www.chiba.jrc.or.jp/activity/youth/index.html>
QRコード



青少年赤十字の学校教育へ採用推奨が

青少年赤十字の学校教育への採用推奨についての依頼文が発出されました。

千葉県では、令和2年度から令和6年度までの期間に計画された、第3期 千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プランを策定しました。

この中で、施策2「道徳性を高める心の教育の推進」において、「日本赤十字社や社会福祉協議会等の団体と連携した社会問題に取り組むボランティア活動等の推進」と記載されています。

○千葉県教育委員会 教育長から
令和3年4月2日付
各県立学校長
各市町村教育委員会教育長
各教育事務所長あてに発出

○千葉県 総務部学事課長から
令和3年3月9日付
各私立学校長あてに発出

○千葉市教育委員会 学校教育部教育指導課長から
令和3年4月6日付
各千葉市立小中高特別支援校長あてに発出



青少年赤十字の概況は

○青少年赤十字は全国の幼稚園、保育所（園）、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の約14,680校で採用され、約350万人が活動しています。
○千葉県では、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会の後援により行事を実施しています。
○千葉県教育委員会及び総務部学事課、千葉市教育委員会から各学校の青少年赤十字の採用が推奨されており、県内の幼稚園、保育園を含んだ233校で、それぞれの実態に合わせて工夫した活動をしている仲間がいます。

青少年赤十字を採用すると

○活動に役立つ学習資料・資材の提供が受けられます。（下記参照 無償貸出し、小冊子の無償配布）
○「総合的な学習の時間」「総合的な探求の時間」に活用できる体験学習やボランティア学習、防災・減災学習等の指導者を無料で派遣することができます。
○先生方を対象とした研修会、生徒を対象とした職場体験等が受けられます。
○採用することで、何らかの義務や強制を伴うようなことは、一切ありません。



高齢者疑似体験セット

総合的な学習の時間などで、「相手のことを理解する」ときに、高齢者の気持ちを考えるために装具を着け、体験することができます。（31セットあります。）



点字盤

道徳や国語の学習、総合的な学習の時間で、「視覚障害者やバリアフリーの理解をする」ときに役立ちます。（40面あります。点字用紙はご用意ください。）



No.13

令和3年4月発行

◆編集◆
千葉県青少年赤十字指導者協議会
◆発行◆
日本赤十字社千葉県支部
〒260-8509
千葉市中央区千葉港 5-7
Tel.043-241-7531
Fax.043-248-6812
E-mail soshiki@chiba.jrc.or.jp
URL <http://www.chiba.jrc.or.jp/>
青少年赤十字

青少年赤十字研究指定校・多古町立久賀小学校（平成30年度～令和2年度）

研究主題 「気づき、考え、実行する久賀っ子の実践」
～道徳科の学習や福祉の活動を通して～

登場人物の気持ちになって演技してみました。



ふせん紙に思ったことを書いて整理すると考えがまとまりました。



初めてで不安だったけど、高校生のお兄さんがいねいに教えてくれました。



加盟以来、JRC活動の意義や児童に身に付けたい力を職員が一丸となって考え、道徳科や特別活動、総合的な学習の時間のめあてに即して活動してきた成果を、公開研究会で紹介し、ご指導をいただくところでしたが、新型コロナウイルス感染症防止のために中止となったことは、大変残念に思っております。

今後も変化の激しい時代となる中、JRCの根本的な精神を児童に授業・体験をとおして伝えることを踏まえ、学校経営目標実現のために研究研修を積み重ねていきたいと思います。（多古町立久賀小学校長あいさつ 研究紀要一部抜粋）



一生懸命発表したら地域の方が喜んでくれました。



千葉県や大阪府のバラアスリートの方々に話を聞きました。



AEDを使って心肺蘇生法を学びました。

JRCは2022年に100周年を迎えます 日本における青少年赤十字（JRC）活動は、世界の平和と人類の幸福に貢献できる人間に成長してほしいという願いを込めて1922年に創設されました。

当初の少年赤十字は、「学校で組織されること」「実践を重んじること」「国際的な組織の一員であること」「児童自身の団であること」「博愛奉仕を実践すること」などを特徴としていました。なかでも実践・実行の重要性は、現在の態度目標「気づき、考え、実行する」につながるものです。このことは、実行によって学校教育の効果をさらに上げるといふ当初の方針に基づき、今も変わらず続けられていることの一例だと言えます。

未来のあなたへ、やさしさを一創設100周年事業 2022年には100周年を記念し、「未来のあなたへ、やさしさを」をテーマに特別行事や各支部でのイベントを実施する予定です。

※発足時「少年赤十字」という名称でした。



学校（園）で活かせる 青少年赤十字のプログラム

青少年赤十字（Junior Red Cross）では、さまざまなプログラムが用意され、子どもたちの考え方や行動力、社会性を広げます。学校教育の中で、先生方の指導により展開されております。総合的な学習の時間や教科の学習、部活動、学級・児童会・生徒会・委員会活動等の様々な場面で活用してみませんか。

■防災教育・道徳での活用

体験を通じて児童・生徒に「命と健康の大切さ」を伝え、相手に対する思いやりを行動に移すことができる子どもの育成に活用できます。



○AEDを含めた救急法講習会
○防災教育プログラム「まもるいのち ひろめるぼうさい」「ぼうさいまちがいがし きけんはっけん!」の提供
○災害時非常食作りの体験
○学校への講師派遣（防災・道徳等）

■各種研修会・交流会への参加

児童・生徒が主体的にボランティアに取り組み、他校の児童・生徒と共に学ぶことで、リーダーとしての自主・自律の精神や望ましい生活態度を身につけることができます。



○地区リーダーシップ・トレーニング・センター
○県スタディー・センター
○千葉県青少年赤十字大会（つどい）
○メンバー協議会（高校生）・交流会（中学生）

「生きる力」

文部科学省 学習指導要領

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切だと示されています。その中で次の充実化がうたわれています。

■体験学習の充実

豊かな体験学習のためには、他者や社会、自然や環境の中での直接体験のきっかけづくりが必要です。たとえば、学校行事（特別活動）において…
○自然の中で集団宿泊活動を推進
○職場体験活動を推進

■道徳教育の充実

家庭や地域社会との共通理解・相互連携などの改善を図っています。たとえば、
○自主性や自律性、自他の生命を尊重する心を育てる。
○自他の生命の尊重、法や決まりの意義の理解、社会の形成への主体的な参画の学び。